



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 56

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 56. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1957, 56: 1-5

ISSUE DATE:

1957-05-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186811>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 56

1957. 4月(5月5日)

532

録 事

毎年のことながら、南の海岸は観光客で雅踏し、無思慮な客が所嫌らわず捨て去る紙屑や弁当殻が、今萌えいであろうとするハマゴウの緑の茂みの間に散らかつて、美観を損ねることおびにだしい。戦後の日本人の公衆道德の低下を声を大にして注意するだけではなんの効果もない。4月より新しい清掃婦を臨時に傭入れて、毎月20日の約束で海岸及び道路附近の清掃を励行さすようにした。

冬の間ほとんど雨が降らなかったため、3月に植えた苗木の活着が危ぶまれていたところ、4月中旬になって漸く待望の雨続きに恵まれた。5月には桃り木、温州蜜柑4本、八朔4本、三室柑4本、枇杷2本の果樹苗を愛知より取りよせ、構内に植を終った。

新規設置の海水ポンプ試運転のにめ海水取入口の清掃を実施した。長年底に溜った砂礫が厚く固って、清掃作業は困難を極めたが、市施委員のアクアリングによる潜水作業のおかげで完全に砂礫を除去することができた。

上旬、山路・市施両委員は生態学会、水産学会、海洋学会の3学会に出席のため上京し、中旬は京都大学の春の臨海実習が行なわれた。

10日山路所員は内湾のプランクトン群集の研究によって京都大学より芽出友く理学博士の学位を授与された。また15日には事務取員大平寿代嬢が芽出友く華燭の典を挙げられ、中谷姓を称されることとなった。振興会も市兩人のおようこびにあやかって幸先のよいこの春を寿ぎたい。

1957年度の委員会総会は来たる5月1日と決定されたので、20日に各委員に案内状を送付した。

業 務 概 況

◎ 4月の入場者数

区 分	水族館発売数	明光バス発売数	合 計
	本月分計	本月分計	本月分計
大 人	13948	26777	40725
小 人	1553	749	2302
団 体	18540	—	18540
合 計	34041	27526	61567
無料入場者	白浜小学児童、幼稚園児他		608

団 体：一般 285組，学生 21組，計 306組

◎ 4月の事業収入

観覧券売上金.....1,137,463

予金・積立金利息.....180,000

雑 収 入.....40

計.....1,317,503

◎ 4月の支出

水族館経費

費 目	金 額	備 考
人 件 費	63,561	
会 計 費	300	
備 品 費	4,600	
消 耗 費	8,890	
事 業 費	56,075	
維 持 費	38,085	鉛管2本、アクアラング修理部品
其 他 諸 経 費	9,233	
積 立 金	229,902	
合 計	410,646	

実験所経費

費 目	金 額	備 考
奨 学 金	5,000	
合 計	5,000	

博物館経費

費 目	金 額	備 考
人 件 費	5,000	
合 計	5,000	

臨時費

摘 要	金 額	備 考
整地植林費	1,520	三宅柑、八朔等苗木
合 計	1,520	

支出合計

水族館経費	410,646
実験所経費	5,000
博物館経費	5,000
臨時費	1,520
計	422,166

◎ 4月末現在高

前年度からの繰越	2,376,112
今月の収入合計	1,317,503
今月の支出合計	422,166
現 在 高	3,271,449

◎ 前年度との比較

	1956	1957	増 減
入 場 者 数	54645	61567	+ 6922
売 上 金	1,031,194	1,137,463	+ 106,269
支 出 金	331,892	422,166	+ 90,274

水族館記事

- ◎ 今月は30日でエビ刺網が禁漁になるので、イセエビ、セミエビ、ゾーリエビ等を出来るだけ購入した。
- ◎ 12日 珍らしく真黒なイザリウオが1匹入槽
- ◎ 21日 シマイシガニ1匹入槽
- ◎ 22日 タカアシガニ1匹死亡
- ◎ 25日 カノコイセエビ1匹入槽
- ◎ 28日 昨年8月9日に入槽したオオセの仔が3匹生れた。
- ◎ 29日 イザリウオ1匹死亡
- ◎ 観覧客が混雑した時などの番所山植物園との連絡は今迄大変不便であつたにが18日双方を結ぶインターホーンの取付けにより、観覧客の整理や事務上の処理が非常に好都合になつた。

博物館記事

- ◎ 9日瀬戸が瀬のエビ網にかかったサザナミヤツコを標本にした。

資 料

- ◎ 4月の気象

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(15)	6	5	4
気 温 (C°)	$\frac{10.9 \sim 18.4}{13.5}$	$\frac{14.8 \sim 20.9}{17.3}$	$\frac{17.4 \sim 21.0}{18.8}$
水 温 (C°)	$\frac{14.1 \sim 17.8}{15.3}$	$\frac{17.5 \sim 18.7}{17.9}$	$\frac{17.5 \sim 19.0}{18.7}$
比 重	$\frac{25.7 \sim 26.3}{26.0}$	$\frac{24.7 \sim 26.0}{25.4}$	$\frac{19.1 \sim 25.4}{22.8}$

但し { 気温は南水槽室
 { 水温 } で9時測定
 { 比重 } No.25水槽

来 訪 録

4月18日 須磨水族館長井上茂平治氏及の全飼育主任奥野良之助氏(京大動物学科出身)来館(5月10日同館の開館にそなえて奥類の購入・譲渡の交渉, また展示図の作成上の指導を仰ぐため)。

昭和32年5月5日

(No. 56)

編集兼
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸内海
瀬和瀬
(Tel. 515)